

「雑誌&WEB」と活発に議論 心に残る故三浦健一氏の「発信」

広報調査委員会委員長 福山裕治



で健全化を推進するためには、同じ志を持った人たちが最新情報を入手し、事実をもとに正確な広報活動を続けていくことに意義があると思っています。

6団体が業界向け記者会見で声明を発表後も、年始にかけて業界の現状は世間からの厳しい目に晒されている事実を認識しているところ。ただ、参加人口が減少傾向にあるとはいえ、多くのファンに支えていただいている産業であることは間違いありません。

情報交換会では、4月29日から30日に予定しているフェスタ2016におけるPR協力をテーマに、ノンユーザー（非顧客）が興味を持つきっかけやスリープユーザー（休眠層）に情報を届ける方法等、活発な意見交換が行われました。

中でも大きな話題は、3年連続ニコニコ超会議に出展することにより、多くの若年層が占める会場で興味を引くには何が重要かという問い掛けでした。昨年ユーザー



雑誌&WEBとの懇親会。福山委員長は奥の特等席（中央列奥）に

ザーが1割しかブースに来場しない実績を踏まえて、ブースに立ち寄る動機づけと親和性をどう企画するかで規制概念に捉われない発信が多く出てきました。

キーワードは「アニメ」「声優」「ちよいパチ」「楽しさ」「ゲーム」「遊びやすさ」等、これらのコンテンツをもとに話を組み立てていくことが出来ました。結論として、協賛企業17社で遊技展示をする中から、これらのキーワードが含まれている対象機種をファン雑誌・WEBメディア企業協力のもとに選出して遊技機委員会に投げかけていく提案がまとまりました。来期も引き続き、情報交換会と懇



親会を深めていくことを約束して、閉会しました。楽しい時間を過ごさせて頂きました。ご協力ありがとうございました。

話題は変わりますが、本年1月25日に逝去されたシークエンス代表取締役三浦健一氏の訃報が届いたのは日遊協九州支部健全化勉強会が行われた29日でした。昨年7月31日に日遊協九州支部プレス懇談会に出席して頂いたのが、お元気な姿を拝見した最後となりました。LOGOSプロジェクトインテリジェンスパートナーとして、1月21日配信号の最後には「私にとって、パチンコ業界のジャーナリズムに身を置き、業界の存続のために有用と思われる情報や意見を発信し続けるのが生き甲斐であるし、使命だと感じている」と締め括っています。

キーワードは「国民の納得」。いまこそ、産業自体の存続を視点に置いた行動を、パチンコ産業に身を置く全ての人が肝に銘じておきたい言葉だと改めて感じています。この場を借りて心からご冥福をお祈りいたします。